

女性のためのメディカル情報
mom's Clinic

第4回「甲状腺の病気」

整形外科専門医。ロコモアドバンスドクター。東京女子医科大学卒業後、慶應義塾大学整形外科学教室に入局。現在、東京都済生会中央病院整形外科医長。女性が心身ともに美しく健康な人生を送れるよう医学的な立場からサポートしている。

仕事や家事、子育てなど、毎日頑張っている女性たちへ! mom's Clinicでは、女性の健康づくりに関与する医療情報をお届けします。今回は、体にとって非常に大切な臓器、甲状腺の病気についてお話ししましょう。

誌上クリニック「mom's Clinic」院長
矢吹有里先生

甲状腺は、新陳代謝や身体活動に大きな影響を与える小さな臓器。

甲状腺の主な働きは 甲状腺ホルモンの分泌。

今回は、女性に多くみられる「甲状腺の病気」の中でも、ホルモンの異常が引き起こす症状に焦点を当ててお話しします。

甲状腺は喉仏の下にあり、蝶が羽を広げたような形をしています。幅4〜6cm、高さ4〜5cm、重さ約15gほどの小さな臓器です(下図)。正常な甲状腺は軟らかいので外から触ってもわかりませんが、病気のため腫れてきたり、硬くなったりすると、手で触れてわかるようになります。首を見ただけで腫れているのがわかる場合もあります。

甲状腺の役割は、食物中のヨード(ヨウ素)を材料として「甲状腺ホルモン」を合成し分泌すること。甲状腺ホルモンは代謝や発育などが生きていく上で必要不可欠な「生命維持活動」を促進する働きがあり、多すぎても少なすぎても体調に影響を及ぼします。後述する症状のほか、ホルモンバランスが崩れることで流産や早産の危険性が高まったり、骨粗しょう症に

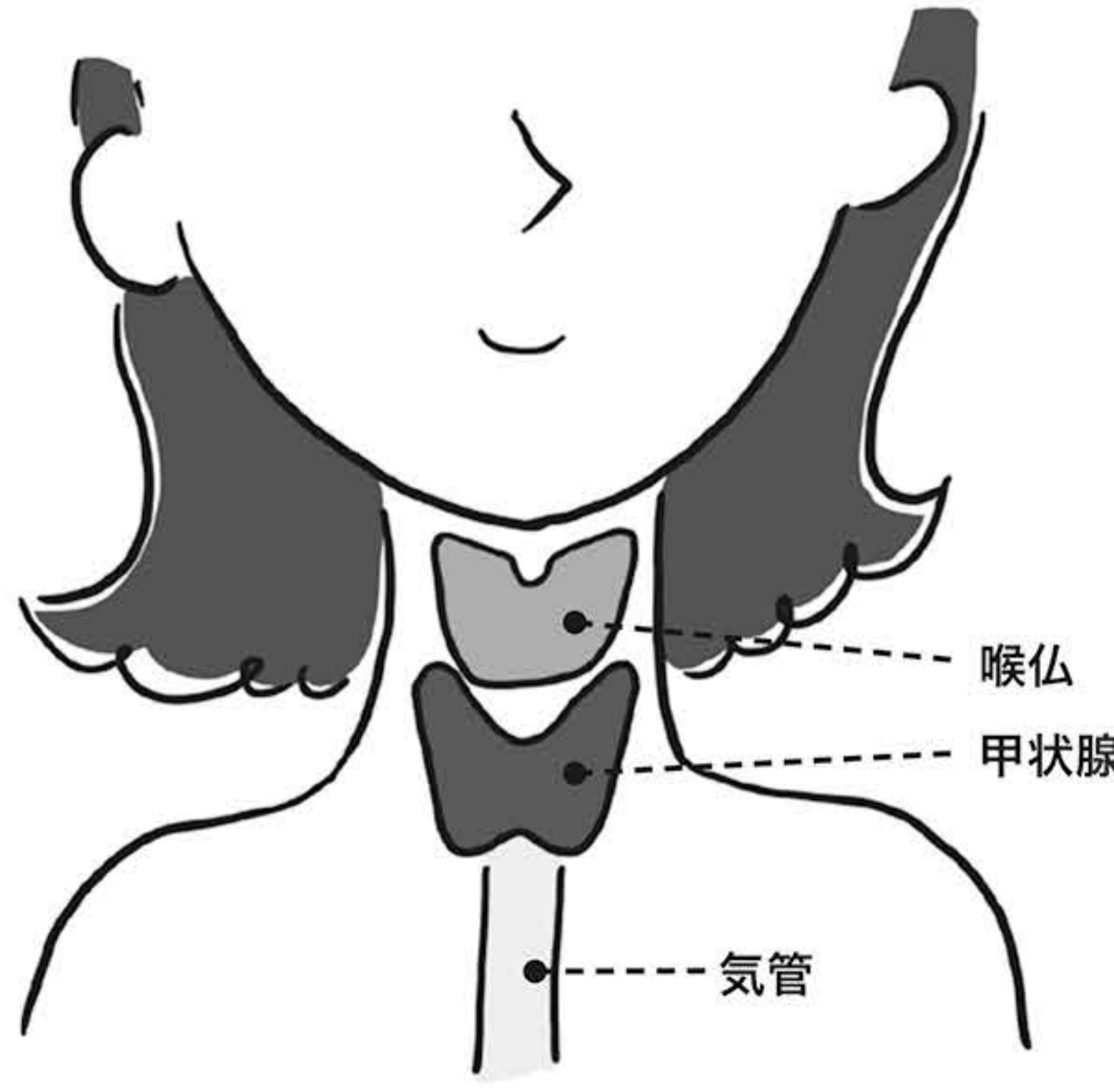
なったりもします。

甲状腺ホルモンが過剰に分泌される病気が「甲状腺機能亢進症」で、逆に不足してしまう病気が「甲状腺機能低下症」です。これらは自己免疫疾患と呼ばれる、本来自分の体を守るはずの免疫が、自分の細胞や組織を異物とみなして自己抗体を作ることによって、自分自身を攻撃してさまざまな

症状を引き起こす病気です。

自己抗体ができる原因ははっきりとはわかっていませんが、甲状腺疾患が女性に多いのは、女性が自己免疫性疾患を起こしやすいことと関係があるといわれています。

また、遺伝的な要素もある程度関係しているといわれています。



甲状腺の病気を疑って検査を受けることをおすすめます。

甲状腺の異常は、なんとなくだるい・疲れやすいといったいわゆる「不定愁訴」といわれる症状が多いため、病気が見落とされていることも少なくありません。女性では30代後半から更年期の症状が出る人もいるため「年齢のせいかもしれない」と感じて悩んでいる方も少なくないです。あまり我慢せず、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。

- 「なんとなく不調」が病気のサインかも!?
- 甲状腺機能亢進症の代表的なものが「バセドウ病」で、20代から30代の女性に多くみられます。バセドウ病になると、新陳代謝が活発になりすぎて、さまざまな身体の不調を感じるようになります。主な症状を挙げてみましょう。
- 異常にイライラする
 - 疲れやすい
 - 少し動いただけでも心臓がドキドキする
 - 暑がりやで汗をかきやすい
 - 落ち着きがなくなる
 - 早口になる
 - 食欲はあるのに体重が減る
 - 手足が震える
 - 眼球が出る
 - 甲状腺が腫れる

- 一方、甲状腺機能低下症の代表的なものが「橋本病」です。多くの臓器で代謝が滞るため、エネルギー消費が少なくなり、次のような症状が現れます。
- 体が冷えて、寒がりになる
 - 食欲がないのに太る
 - 肌が乾燥し、体がかゆい
 - 朝起きたときに体や手がむくむ
 - 便秘がちになる
 - 昼間も眠く、居眠りをするようになる
 - 体が重い・だるい
 - やる気が出ない
 - 筋力が低下する
 - 月経の量が多くなり、月経の期間が長くなる

甲状腺の病気を疑って検査を受けることをおすすめます。

甲状腺の異常は、なんとなくだるい・疲れやすいといったいわゆる「不定愁訴」といわれる症状が多いため、病気が見落とされていることも少なくありません。女性では30代後半から更年期の症状が出る人もいるため「年齢のせいかもしれない」と感じて悩んでいる方も少なくないです。あまり我慢せず、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。

甲状腺の病気を疑って検査を受けることをおすすめます。

甲状腺の異常は、なんとなくだるい・疲れやすいといったいわゆる「不定愁訴」といわれる症状が多いため、病気が見落とされていることも少なくありません。女性では30代後半から更年期の症状が出る人もいるため「年齢のせいかもしれない」と感じて悩んでいる方も少なくないです。あまり我慢せず、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。

甲状腺の病気を疑って検査を受けることをおすすめます。

甲状腺の異常は、なんとなくだるい・疲れやすいといったいわゆる「不定愁訴」といわれる症状が多いため、病気が見落とされていることも少なくありません。女性では30代後半から更年期の症状が出る人もいるため「年齢のせいかもしれない」と感じて悩んでいる方も少なくないです。あまり我慢せず、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。



今月の重要ポイント!

甲状腺の病気は、適切に治療し甲状腺ホルモンの値をコントロールすることで、妊娠・出産も可能となり、日常生活も快適に送れるようになります。早めの専門医への受診と、その後の定期受診を継続して行うようにしましょう。